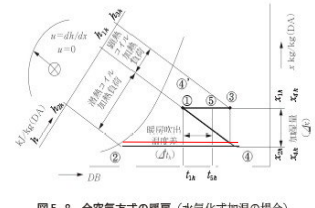
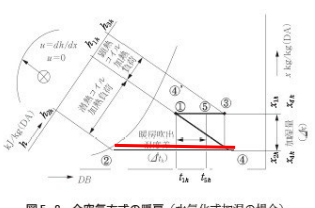


令和6年版 建築設備設計基準の正誤表について
設備設計基準 第1刷用正誤表

頁	編	章	節・項	項名称	訂正箇所	誤	正	更新日
368	4	1	2-2-7	その他の内部発熱負	技術資料	・一般事務室P1=15kWの例 ・一般事務室P1=30kWの例	・一般事務室P1=15Wの例 ・一般事務室P1=30Wの例	
385	4	1	2-2-11	選定図表(4)ガラス面標準日射取得I _G 、太陽高度、太陽方位	表2-15 高松、福岡、那覇	高松、福岡、那覇 ガラス面標準日射取得I _G 、太陽高度、太陽方位	高松、福岡、那覇 (別表参照) ガラス面標準日射取得I _G 、太陽高度、太陽方位	R61119
387	4	1	2-2-11	選定図表(5)夏期の見掛けの太陽高度の正接(tanφ、上段)、及び壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段)	表2-16 高松、福岡、那覇	高松、福岡、那覇 夏期の見掛けの太陽高度の正接(tanφ、上段)、及び壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段)	高松、福岡、那覇 (別表参照) 夏期の見掛けの太陽高度の正接(tanφ、上段)、及び壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段)	R61119
387	4	1	2-2-11	選定図表(5)夏期の見掛けの太陽高度の正接(tanφ、上段)、及び壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段)	表2-16 那覇	那覇 壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段) 方位 E 時刻9 0.09	(別表参照) 壁面に対する太陽方位の正接(tanγ、下段) 方位 E 時刻9 -0.05 方位 E 時刻9 -1.10 方位 E 時刻9 -2.78	R70619
389	4	1	2-3-3	すきま風、窓のすきま風量、	(1)イ	すきま風を計算する場合は、最多風向(表2-11)面に最も近い外壁二面……	すきま風を計算する場合は、最多風向(表2-19)面に最も近い外壁二面…	R70822
389	4	1	2-3-3	すきま風、すきま風負荷計算	-2	すきま風負荷の計算は、2-2「冷房負荷計算」を参照する。	すきま風負荷の計算は、2-2「冷房負荷計算」を参照する。冬期設計用屋外条件は、表2-19による。	R70822
459	4	1	4-3	計算式	表4-4 排ガス等の平均密度	煙道 気体燃料口 ρ _f = 353 /(273+t _f) 液体燃料 ρ _f =342 /(273+t _f)□	煙道 気体燃料口 ρ _f = 342 /(273+t _f) 液体燃料 ρ _f =358 /(273+t _f)□	R70731 訂正R70821
459	4					煙突 気体燃料口 ρ _f = 353 /(273+t _g) 液体燃料 ρ _f =342 /(273+t _g)□	煙突 気体燃料口 ρ _f = 342 /(273+t _g) 液体燃料 ρ _f =358 /(273+t _g)□	R70731 訂正R70821
460	4	1	4-3	計算式	表4-5 煙道欄	摩擦抵抗h _{f1} h _{f1} =λ・L / ρ _f V _f ² / 2・ρ _f 局部抵抗 h _{f1}	摩擦抵抗h _{f1} 局部抵抗 h _{f2} h _{f1} =λ・L / D _f ・V _f ² / 2・ρ _f	R61119
460	4	1	4-3	計算式	表4-5 煙突欄	摩擦抵抗h _{g1} h _{g1} =λ・H _g / D _g ・V _g ² / 2・ρ _g 局部抵抗 h _g	摩擦抵抗h _{g1} 局部抵抗 h _g h _{g1} =λ・H _g / D _g ・V _g ² / 2・ρ _g	
460	4	1	4-3	計算式	(3)	V=…[m ³ /m ³](表4-2参照)	V=…[m ³ /m ³](表4-7参照)(表4-7参照)	70822 訂正07828
463	4	1	4-4	選定図表	(3)表4-7	表4-7各種燃料の排熱量等(参考)	表4-7各種燃料の排ガス量(参考)	R70821
463	4	1	4-4	選定図表	(3)表4-7	表4-7 備考(1)木質ペレットは、全木ペレットの場合の発熱量を示す。	表4-7 備考(2)木質ペレットは、全木ペレットの場合の排ガス量を示す。	R70821
470	4	1	5-1-5	空調調和機の選定	(2)暖房の空気線図 図5-8全空機方式の暖房 (水気化式加湿の場合)	コンパクト形空調調和機の選定は、表5-6～表5-10 による。	コンパクト形空調調和機の諸元値は、表5-6～表5-10 による。	
478	4	1	5-2-3	潜熱・顕熱分離形の空調調和機の空気線図の作図方法	(2)暖房の空気線図 図5-8全空機方式の暖房 (水気化式加湿の場合) ②ー④の線細線→太線			
482	4	1	5-3-4	諸元表(1)	表5-11 ファンコイルユニットの諸元 (冷・温水出入口温度差5℃)	(別表参照) 冷房能力 暖房能力	(別表参照) 冷房能力 暖房能力	R71003
482	4	1	5-3-4	諸元表(1)	表5-12 ファンコイルユニットの諸元 (冷・温水出入口温度差7℃)	入力値 [VA]	電源容量 [VA]	
482	4	1	5-3-4	諸元表(1)	表5-12 ファンコイルユニットの諸元 (冷・温水出入口温度差7℃)	圧力損失係数k	圧力損失係数k	R71003
521	4	1	7-4	床置形全熱交換ユニットの算定	表7-3(b) 床置形全熱交換ユニット(静止形)の顕熱交換効率η _t 、全熱交換効率η _h	顕熱交換効率η _t 、全熱交換効率η _h	(別表参照) 顕熱交換効率η _t 、全熱交換効率η _h	R61202
522	4	1	7-5	天井隠ぺい形全熱交換ユニット(カセット形除く)の算定	表7-5 天井隠ぺい形全熱交換ユニットの諸元値	(別表参照) 顕熱交換効率 全熱交換効率 消費電力	(別表参照) 顕熱交換効率 全熱交換効率 消費電力	R71003

地区		高松				福岡				那覇			
時	刻	9	12	14	16	9	12	14	16	9	12	14	16
方位	N									17.77			
										21.24			
	NNE	4.05				3.02				1.96			
		3.93				3.19				2.13			
	NE	1.67				1.41				1.13	89.77		
		1.34				1.20				0.91	17.94		
	ENE	1.16				1.02				0.89	11.52		
		0.59				0.52				0.36	2.08		
	E	1.01	23.09			0.91	9.40			0.84	6.70		
		0.14	6.59			0.09	2.53			0.09	0.89		
	ESE	1.03	6.70			0.95	4.97			0.92	5.29		
		-0.25	1.66			-0.31	1.03			-0.47	0.35		
	SE	1.25	4.30			1.18	3.76			1.24	5.00		
		-0.75	0.74			-0.84	0.43				-0.06		
	SSE	1.96	3.57	28.74		1.95	3.45	16.61		2.47	5.54		
		-1.68	0.25	16.02		-1.91	0.02	8.09			-0.48		
	S	7.00	3.50	4.07	22.08	10.14	3.71	4.13	13.67		7.49	8.67	
		-6.93	-0.15	2.04	29.48	-11.19	-0.39	1.76	16.33		-1.12	3.18	
	SSW		4.05	2.39	1.81		4.80	2.58	1.91		15.11	4.05	2.55
			-0.60	0.88	2.20		-0.97	0.78	2.05		-2.85	1.19	2.61
	SW		5.84	1.89	1.02		8.67	2.11	1.12			2.94	1.33
			-1.36	0.34	0.93		-2.30	0.28	0.88			0.52	1.06
	WSW		14.45	1.79	0.80		204.81	2.05	0.88			2.61	1.00
			-4.05	-0.06	0.38		-59.34	-0.12	0.34			0.09	0.45
	W			1.99	0.75			2.34	0.84			2.73	0.91
				-0.49	-0.03			-0.57	-0.06			-0.31	0.03
	WNW			2.71	0.82			3.31	0.93			3.40	0.98
				-1.13	-0.45			-1.28	-0.49			-0.84	-0.38
	NW			5.52	1.10			7.65	1.26			5.63	1.26
				-2.92	-1.07			-3.62	-1.13			-1.92	-0.95
	NNW				2.13				2.57			29.70	2.23
					-2.67				-2.91			-11.37	-2.24

		風量比(給気風量/排気風量)			
		0.8	1	1.2	1.5
顕熱交換 効率[%]	冷房	62.0	58.0	53.5	49.0
	暖房	64.0	60.0	55.5	50.0
全熱交換 効率[%]	冷房	62.0	58.0	53.5	49.0
	暖房	64.0	60.0	55.5	50.0
備考(1)		給気は機器定格風量とする。			
(2)		顕熱交換効率及び全熱交換効率はJIS B 8628 による。			

地区		那覇			
時	刻	9	12	14	16
方位	N	17.77			
		21.24			
	NNE	1.96			
		2.13			
	NE	1.13	89.77		
		0.91	17.94		
	ENE	0.89	11.52		
		0.36	2.08		
	E	0.84	6.70		
		0.09	0.89		
	ESE	0.92	5.29		
		-0.47	0.35		
	SE	1.24	5.00		
			-0.06		
	SSE	2.47	5.54		
			-0.48		
	S		7.49	8.67	
			-1.12	3.18	
	SSW		15.11	4.05	2.55
			-2.85	1.19	2.61
	SW			2.94	1.33
				0.52	1.06
	WSW			2.61	1.00
				0.09	0.45
	W			2.73	0.91
				-0.31	0.03
	WNW			3.40	0.98
				-0.84	-0.38
	NW			5.63	1.26
				-1.92	-0.95
	NNW			29.70	2.23
				-11.37	-2.24



地区		那覇			
時	刻	9	12	14	16
方位	N	17.77			
		21.24			
	NNE	1.96			
		2.13			
	NE	1.13	89.77		
		0.91	17.94		
	ENE	0.89	11.52		
		0.36	2.08		
	E	0.84	6.70		
		-0.05	0.89		
	ESE	0.92	5.29		
		-0.47	0.35		
	SE	1.24	5.00		
		-1.10	-0.06		
	SSE	2.47	5.54		
		-2.78	-0.48		
	S		7.49	8.67	
			-1.12	3.18	
	SSW		15.11	4.05	2.55
			-2.85	1.19	2.61
	SW			2.94	1.33
				0.52	1.06
	WSW			2.61	1.00
				0.09	0.45
	W			2.73	0.91
				-0.31	0.03
	WNW			3.40	0.98
				-0.84	-0.38
	NW			5.63	1.26
				-1.92	-0.95
	NNW			29.70	2.23
				-11.37	-2.24

482415-3-4表5-11 ファンコイルユニットの諸元(冷・温水出入口温度差 5℃)

R71003

形番 (FCU-)		床置形、天井吊り形				ローボイ形				カセット形 (2方向吹出)			
		3	4	6	8	3	4	6	8	3	4	6	8
冷房能力 [kW]	全熱	1.94	2.57	3.89	5.19	1.84	2.45	3.67	4.90	2.09	2.79	4.20	5.59
	顕熱	1.46	1.93	2.9	3.87	1.39	1.85	2.78	3.70	1.57	2.09	3.15	4.19
暖房能力 [kW]	45℃	2.31	3.09	4.61	6.15	1.97	2.63	3.95	5.27	2.63	3.51	5.27	7.02
	55℃	2.87	3.84	5.74	7.67	2.74	3.65	5.47	7.3	3.65	4.86	7.3	9.73
風量 [m³/h]		420	560	840	1,120	360	480	720	960	480	640	960	1,280
騒音レベル [dB(A)]		39	39	41	42	39	39	41	42	42	43	44	45
圧力損失係数 k1 [kPa・min²/L²]		0.5	0.32	0.18	0.12	0.5	0.32	0.18	0.12	0.5	0.32	0.18	0.12
電源容量 [VA]	50Hz	60	65	90	130	60	65	90	130	75	100	130	170
	60Hz	65	70	100	140	65	70	100	140	85	110	150	190
消費電力[W]	50Hz	54	60	85	120	58.5	59	85	123	75	101	122	173
	60Hz	61	68	101	131	60	66	100	136	86	123	148	212

注 1. 定格風量の測定条件及び試験方法は、JIS A 4008(ファンコイルユニット)の8.1の規定による。
2. 騒音の試験方法は、JIS A 4008(ファンコイルユニット)の附属書Gによる。
3. コイル損失水頭の試験方法は、JIS A 4008(ファンコイルユニット)の8.4の規定による。
なお、弁類の損失は含まないものとする。
4. 入口空気温度は冷房 28℃湿度 45%、暖房 19℃とし、入口水温は冷房 7℃とする。
5. 消費電力は、電動機を製造者標準とした場合の最大値を参考に示している。永久磁石を用いた同期電動機とする場合は製造者の値による。



形番 (FCU-)		床置形、天井吊り形				ローボイ形				カセット形 (2方向吹出)			
		3	4	6	8	3	4	6	8	3	4	6	8
冷房能力 [kW]	全熱	2.13	2.86	4.29	5.71	1.84	2.45	3.67	4.90	2.45	3.27	4.90	6.53
	顕熱	1.61	2.16	3.23	4.32	1.39	1.85	2.78	3.70	1.85	2.46	3.70	4.94
暖房能力 [kW]	45℃	2.31	3.09	4.61	6.15	1.97	2.63	3.95	5.27	2.63	3.51	5.27	7.02
	55℃	3.19	4.27	6.39	8.51	2.74	3.65	5.47	7.3	3.65	4.86	7.3	9.73
風量 [m³/h]		420	560	840	1,120	360	480	720	960	480	640	960	1,280
騒音レベル [dB(A)]		39	39	41	42	39	39	41	42	42	43	44	45
圧力損失係数 k1 [kPa・min²/L²]		0.50	0.32	0.18	0.12	0.50	0.38	0.18	0.12	0.50	0.32	0.18	0.12
電源容量 [VA]	50Hz	60	65	90	130	60	65	90	130	75	100	130	170
	60Hz	65	70	100	140	65	70	100	140	85	110	150	190
消費電力[W]	50Hz	54	60	85	120	58.5	59	85	123	75	101	122	173
	60Hz	61	68	101	131	60	66	100	136	86	123	148	212

注 1. 定格風量の測定条件及び試験方法は、JIS A 4008(ファンコイルユニット)の8.1の規定による。
2. 騒音の試験方法は、JIS A 4008(ファンコイルユニット)の附属書Gによる。
3. コイル損失水頭の試験方法は、JIS A 4008(ファンコイルユニット)の8.4の規定による。
なお、弁類の損失は含まないものとする。
4. 入口空気温度は冷房 28℃湿度 45%、暖房 19℃とし、入口水温は冷房 7℃とする。
5. 消費電力は、電動機を製造者標準とした場合の最大値を参考に示している。永久磁石を用いた同期電動機とする場合は製造者の値による。

482415-3-4表5-12 ファンコイルユニットの諸元(冷・温水出入口温度差 7℃)

R71003

形 番 (FCU-)		床置形、天井吊り形				カセット形 (2方向吹出)			
		3	4	6	8	3	4	6	8
冷房能力 [kW]	全熱	1.94	2.57	3.89	5.19	2.09	2.79	4.2	5.59
	顕熱	1.46	1.93	2.9	3.87	1.57	2.09	3.15	4.19
暖房能力 [kW]	45℃	2.08	2.78	4.15	5.54	2.23	2.88	4.47	5.96
	55℃	2.87	3.84	5.74	7.67	3.09	4.12	6.19	8.26
風量 [m³/h]		420	560	840	1,120	480	640	960	1,280
騒音レベル [dB(A)]		39	39	41	42	42	43	44	45
圧力損失係数 k1 [kPa・min²/L²]		3.58	2.04	0.9	0.58	2.19	1.36	0.69	0.52
入力値 [VA]	50Hz	60	65	90	130	75	100	130	170
	60Hz	65	70	100	140	85	110	150	190
消費電力[W]	50Hz	60	60	90	118	75	101	130	173
	60Hz	65	70	101	135	85	123	150	212

注 1. 定格風量の測定条件及び試験方法は、JIS A 4008(ファンコイルユニット)の8.1の規定による。
2. 騒音の試験方法は、JIS A 4008(ファンコイルユニット)の附属書Gによる。
3. コイル損失水頭の試験方法は、JIS A 4008(ファンコイルユニット)の8.4の規定による。
なお、弁類の損失は含まないものとする。
4. 入口空気温度は冷房 28℃湿度 45%、暖房 19℃とし、入口水温は冷房 7℃とする。
5. 消費電力は、電動機を製造者標準とした場合の最大値を参考に示している。永久磁石を用いた同期電動機とする場合は製造者の値による。



形 番 (FCU-)		床置形、天井吊り形				カセット形 (2方向吹出)			
		3	4	6	8	3	4	6	8
冷房能力 [kW]	全熱	1.94	2.57	3.89	5.19	2.09	2.79	4.2	5.59
	顕熱	1.46	1.93	2.9	3.87	1.57	2.09	3.15	4.19
暖房能力 [kW]	45℃	2.08	2.78	4.15	5.54	2.23	2.88	4.47	5.96
	55℃	2.87	3.84	5.74	7.67	3.09	4.12	6.19	8.26
風量 [m³/h]		420	560	840	1,120	480	640	960	1,280
騒音レベル [dB(A)]		39	39	41	42	42	43	44	45
圧力損失係数 k1 [kPa・min²/L²]		3.50	2.00	0.88	0.49	2.17	1.34	0.68	0.42
入力値 [VA]	50Hz	60	65	90	130	75	100	130	170
	60Hz	65	70	100	140	85	110	150	190
消費電力[W]	50Hz	60	60	90	118	75	101	130	173
	60Hz	65	70	101	135	85	123	150	212

注 1. 定格風量の測定条件及び試験方法は、JIS A 4008(ファンコイルユニット)の8.1の規定による。
2. 騒音の試験方法は、JIS A 4008(ファンコイルユニット)の附属書Gによる。
3. コイル損失水頭の試験方法は、JIS A 4008(ファンコイルユニット)の8.4の規定による。
なお、弁類の損失は含まないものとする。
4. 入口空気温度は冷房 28℃湿度 45%、暖房 19℃とし、入口水温は冷房 7℃とする。
5. 消費電力は、電動機を製造者標準とした場合の最大値を参考に示している。永久磁石を用いた同期電動機とする場合は製造者の値による。

522417-5表7-5 天井隠ぺい形全熱交換ユニットの諸元値

R71003

	定格風量 [m³/h]	機外静圧 [Pa]	顕熱交換効率 [%]		全熱交換効率 [%]		電源容量 [kVA]	消費電力 [kW]
			冷房	暖房	冷房	暖房		
HEU-150	150	60	64	74	63	69	0.20	0.13
HEU-250	250	75	64	74	63	69	0.25	0.16
HEU-350	350	85	64	74	63	69	0.40	0.23
HEU-500	500	140	64	74	62	68.5	0.60	0.33
HEU-650	650	91	64	74	62	69	0.75	0.53
HEU-800	800	135	64	74	63	69	0.85	0.74

備考 (1) 機外静圧は、エレメント等の機内抵抗分を含まない。
(2) 電源は単相 100V、200V(50Hz、60Hz 共)とする。
(3) 効率、機器定格風量時の値を示す。
(4) 顕熱交換効率及び全熱交換効率はJIS B 8628 による。
(5) 消費電力は、電動機を製造者標準とした場合の最大値を参考に示している。永久磁石を用いた同期電動機とする場合は製造者の値による。



	定格風量 [m³/h]	機外静圧 [Pa]	顕熱交換効率 [%]		全熱交換効率 [%]		電源容量 [kVA]	消費電力 [kW]
			冷房	暖房	冷房	暖房		
HEU-150	150	60	64	74	63	69	0.20	0.13
HEU-250	250	75	64	73	60	69	0.25	0.16
HEU-350	350	85	64	74	60.5	65	0.40	0.23
HEU-500	500	140	64	74	62	68.5	0.60	0.33
HEU-650	650	91	61	73	60	68	0.75	0.52
HEU-800	800	135	64	74	63	69	0.85	0.74

備考 (1) 機外静圧は、エレメント等の機内抵抗分を含まない。
(2) 電源は単相 100V、200V(50Hz、60Hz 共)とする。
(3) 効率は、機器定格風量時の値を示す。
(4) 顕熱交換効率及び全熱交換効率はJIS B 8628 による。
(5) 消費電力は、電動機を製造者標準とした場合の最大値を参考に示している。永久磁石を用いた同期電動機とする場合は製造者の値による。